

## BreakThrough

～夢に向かって～

第14号

2学年最終号



福島県立相馬高等学校第2学年  
令和4年3月18日発行  
※地震休校により3月23日に配付

# 人との繋がりを大切に

令和4年3月11日(金)、息子の卒業式が行われる相馬市立中村第一中学校に家族と出向いた。車で正門を通過すると、若い男性の先生が車の誘導を必死にやっていた。よく見ると、相馬高校OBの今野君であった。いわゆる社会人1年目のフレッシュマンである。彼は高校時代、野球部に所属し、攻守にわたって活躍した。そして今年度は指導者として、中村第一中学校の野球部を全国大会に導いた。彼の高校時代の印象は「卓球boy」である。昼休み、図書室の前に長机を2台並べ、辞書をネット代わりに、加えて辞書をラケット代わりにして当時の同級生、天沼君と温泉卓球以上に白熱したラリーを展開していた。今では中学校の職員、野球指導者として地域を支える存在に成長した。改めて人との繋がりの不思議さと素晴らしさを実感した瞬間であった。そんな人との繋がりを振り返ってみた。

平成15年4月、福島県立安積高等学校で教員生活が始まった。赴任3年目で3年生の理系化学を初めて教えることになった。担当したクラスに吉野君という男子生徒がいた。彼は化学者を目指しており、様々な汚れの成分を素早く分解できる万能な触媒を開発したいと常々言っていた。彼に研究業務の一部始終を見せたいと思い、11年間在籍した化学会社の上司に相談した。上司は快く引き受けてくれ、丸半日かけて会社の案内をしてくれた。その後彼は東北大学理学部化学科へ進学し、同大学院修了後、花王株式会社就職した。現在は特許部門の最前線で活躍している。

2校目の赴任地は福島県立富岡高等学校川内分校、全校生徒数は何と30名、1校目が千名を超える規模だったので、かなりのギャップがあった。この学校の特徴は川内村との連携が強く、年に10回以上、村の行事にボランティアとして生徒が参加し、社会貢献することの大切さを学んだ。赴任して1年生の担任となり、10名の生徒と充実した学校生活を送った。生徒の中に横田君という男子生徒がいた。後に生徒会長も務め、福島大学行政政策学類に進学後、地元の川内村役場に就職し、現在は復興課の最前線で活躍している。そんな彼にも3年前に大変お世話になった。相馬高校で初めて担任した生徒の中に福島大学行政政策学類に進学を希望する女子生徒がいた。彼女は東日本大震災後の風評被害で停滞している相馬港で水揚げされた魚介類をどうすれば払拭できるかを真剣に考えていた。横田君に川内村の復興状況を彼女に説明してくれないかと相談したところ、快く引き受けてくれ、丸半日かけて川内村の様々な復興施設を案内してくれた。女子生徒は無事、福島大学行政政策学類に合格し、4月から4年生となる。将来、どのような形で社会貢献してくれるか楽しみである。

君たちは4月からいよいよ3年生となる。この学年は生徒、担任も含め「やんちゃな学年」であると思っている。別に悪いことではない。やんちゃがゆえに手を差し伸べたくなるものである。多くの先生方の協力のもと、進路実現するための環境がしっかりと整っている。受験は本当に辛く、長い戦いが続くが決して一人ではない。振り返ってほしい、君たちの周りには多くの友、そして先生方がついている。この1年が勝負である、“強い気持ちと覚悟を持って受験に臨んでほしい。”

(学年主任 西山 博文)



## の行事予定

8日(金) 着任式、始業式、入学式、PTA入会式  
11日(月) 課題テスト、対面式・部活動紹介  
校内小論文模試(希望者のみ)  
12日(火) 委員会編成(7カット)  
13日(水) 身体測定・個人写真撮影(7カット)  
14日(木) 部局編成(7カット)

16日(土) 相高原高定期戦@二の丸球場  
23日(土) PTA総会  
25日(月) 代休  
29日(金) 昭和の日  
未定 生徒総会

# 担任より、愛をこめて♡

## Love letter from Homeroom teacher

\*\*\*\*\*

### 1組 星 克子

クラス替えをして新生1組を見渡したときに、「とてもおとなしいクラスになったな」と感じた。こりゃいかんと思い、人数分のみたらし団子を買って、LHRにお花見散歩をしたときからもうすぐ1年。あのときの私の不安と裏腹に、多くの行事を重ねながら徐々に賑わいを見せ、手前味噌ではあるが今では個性がキラリと光る素敵なクラスになった。男子も女子も本当に優しく、素敵な人たちだ。楽しいことがあれば素直にはしゃぎ、綺麗な景色を見れば純粋に喜び、真剣に取り組まなければいけない場面ではまっすぐに一生懸命な姿勢を見せてくれた。虹が綺麗だから見てほしいとわざわざ職員室に来て教えてくれた人もいて、そんな経験は教員人生で初めてだ。2学年全体の明るい雰囲気が好きだし、どのクラスの授業も楽しくやっているが、1組での授業が一番ホッとするひとときである。毎朝「おはよう!」と教室に入る瞬間も大好きだ。この1年間で色んな「想い」を皆で共有できたと思っている。修学旅行は本当に楽しかったね。本気で皆の将来を考えているので時には叱るときもあるが、それぞれの「しあわせ」についてともに真剣に考えていこう。楽しい2年生が終わり、いよいよ3年生。進路が決まるまで苦しい日々が待っているが、皆で力を合わせながら駆け抜けよう。私も伴走します。ぎっくり腰にならない程度に。

\*\*\*\*\*

### 2組 鶴川 さくら

普段は気恥ずかしくて言いませんが、私は皆さんのことがかわいくて仕方がないんです。テストの点数が良かったとか、部活動で結果が出たとか話してくれるのもかわいいし、体育で男女問わずぎゃああとかうわあああとか叫んでいるのもかわいいし、ベランダで雪合戦が始まっても、球技大会で下級生相手に殲滅作戦が始まっても、テストの点数が真っ赤で許せんと思っても、それでも何だかんだ結局はかわいいんです。私は、そんな皆さんに中身のある人間になってほしいんです。甘やかすのは簡単ですが、その先に何が残るのか。私は、空っぽの人間しか残らないと思うんです。だから私は、断腸の思いでムチを振るうんです。4月にこのクラスで写真を撮った時、「鶴川の『うー!』」ってポーズを取ってくれたのを見て、「私はこの子たちのために全力で頑張ろう」って誓ったんです。志望校に合格した皆さんと一緒に喜びたいんです。だから、やるべきことをできるまでやってください。頑張ろうね。

\*\*\*\*\*

### 3組 伏見 裕樹

3月5日(日)、宮城県の定義山にお参りに行ってきました。実はこれが今年の初詣でした。お線香を焚いて、お賽銭を100円も入れて願い事をしました。1つ目は、相馬太鼓部の生徒の大学受験がうまくいきますように。2つ目は自分の健康を祈願。3つめは生徒の進路実現。100円で3つの願い事なので、1つあたり33円の願い事です。生徒の進路実現については、3組は35名なので、1人あたりで計算すると1円にもなりません。次はもうちょっと奮発したいと思います。

しかし、世の中うまくいくもので、太鼓部の生徒は無事に合格する事ができました。やっぱり神頼みしておくべきですね。ただ、あくまでも最後の最後ですよ。受験当日までは自分の実力です。やりもしないで合格をつかむことなんかできないですからね。ちなみに、定義山は三角油揚げが名物で、揚げたての油揚げに七味と醤油をかけて食べるんです。めっちゃめっちゃおいしいですよ。1枚130円。お賽銭より高い...

ところで、いまウクライナで起こっている事を見て、皆さんは何を思いますか?今みんなが普通に生活できている事のありがたさを実感して欲しいですね。でも、いつまで続くか分かりませんよ。だって、ロシアは海を挟んで向かい側ですからね。そして中国も虎視眈々と台湾、尖閣、そして日本を狙っていますからね。自分たちの将来を世界情勢も踏まえて考えることも必要ですね。

というわけで、みんな頑張れ!!

\*\*\*\*\*

### 4組 西山 博文

私は放課後の教室の雰囲気が好きである。放課後、教室の黒板を拭きに行くことを日課にしているが、教室にいる君たちは本当に自然体である。ある話題で盛り上がっている人もいれば、黙々と勉強している人もいる。1年次と比べると、その数は明らかに多くなっている。4月から3年生になり、放課後の教室の雰囲気がどのようになっていくかが楽しみである。そんな君たちに1つ期待したのが、“リーダー”としての自覚を持ってほしいことだ。具体的には勉強に関して、教え合う環境を積極的につくってほしい。夏休み前には多くの生徒が部活動を引退し、受験勉強に専念することになる。放課後、クラス関係なく多くの生徒が集う教室に黒板を拭きに行くことを楽しみにしている。

\*\*\*\*\*

2度目の大きな地震。まさか…は突然やってくる。でも若駒は負けない。この困難を皆で乗り越えていこう。